

小説 私の東京教育大学

真木和泉 著

1960年代末～70年代初頭にかけて繰り広げられた東京教育大学筑波移転問題。66年に上京し、同大学



し、同大学に入学した和田俊之と、70歳を超えた現代の俊之のそれぞれの目線で描かれた、三つの

中短編からなります。寮での生活で大学自治・自由・民主主義を学んだ俊之は強引な大学移転に反対する学生たちの行動に加わり、不当逮捕にも敢然と立ち向かいます。その後、学生たちがどのような人生をたどったのかも丁寧に描いています。

(本の泉社・1200円)